

知っておきたい乳がん関連最新情報②

～乳がんの治療方法と療養上の悩みなどへの対応について～

外科出張医（J R 札幌病院顧問、乳腺専門医） 平田 公一
外科出張医（札幌医科大学乳腺外科助教、乳腺専門医） 島 宏彰



平田Dr.



島Dr.

乳がんの治療は多岐に渡るため、煩雑で分かりにくいと言われていています。今回は乳がんの治療方法と療養上の悩みなどへの対応についてご紹介します。

乳がんの治療方法には、手術、薬物治療として内分泌療法・化学療法・分子標的療法、そして放射線療法などがあります。最良の組み合わせを提示することが医療側の責任です。

乳がんと診断されて最初に受ける治療を初期治療と言います。手術、放射線療法などの「局所治療」と薬物療法としての「全身療法」を含みます。手術が必ずしも初期治療の第一選択になるとは限りません。正確ながんの広がりや診断を行ったうえで、適切な治療方針が決

まります。遠隔転移を精査するために「骨シンチグラフィ」やPET検査を行うことがあります。

（1）転移を伴う乳がんの場合、どうなるのですか？

骨や肺など乳房から離れた臓器・組織にがんが移動し病変が生じている状況を「転移」といいます。症状が全く無い場合も少なくありません。いずれにせよ、薬物療法が主となります。急に進行することは少なく、長期間元気に過ごされている人が大勢います。

治療中に薬物が効かなくなった場合は、薬物の変更によって効果が得られることが証明されています。まだまだ新しい

薬や治療法が開発されつつあります。慌てず医師とよく相談してください。

（2）療養上の悩みや課題について相談は可能ですか？

治療方針変更の是非の相談、医療費など経済的負担軽減、不眠・食欲不振・うつ気味等の精神的課題の解決、就業・妊娠に関する課題解決などで悩まされることも少なくありません。個々にそのつど、適切なアドバイスや治療により可能な限りの解決を図ることが、生活の質の維持・向上へとつながります。

どうしても別の医師に相談したいときには「セカンドオピニオン」があります。第三者の乳腺専門医が相談にあ

たります。セカンドオピニオンをどこで実施しているかは、医師にお尋ねください。もちろん、市立病院乳腺専門外来で私たちもお話を伺います。

広報たきかわ7月号と8月号の2か月にわたり、乳がんの特徴と早期発見のための検査、治療方法などについてご紹介しました。より詳しい説明は私（平田）が発行責任者の一人である「患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2014年版」に記載されています。

以上、乳がん診療の概要をご紹介しました。少しでもお役に立てれば幸いです。

※1 がんの転移状況などを調べる検査。
※2 市立病院外科外来でご覧いただけます。

● 8月の救急医療機関 ●

平日

電話で時間外診療の協力医療機関をお知らせします。

時間外夜間急病テレホンセンター
Tel.22-2299

休日

【内科・小児科】

診療時間 8時30分～翌日8時30分

市立病院

Tel.22-4311（大町2-2）

【外科】

診療時間 8時30分～翌日8時30分

2日（日）滝川脳神経外科

9日（日）市立病院

16日（日）滝川脳神経外科

23日（日）市立病院

30日（日）市立病院

※市立病院

Tel.22-4311（大町2-2）

※滝川脳神経外科

Tel.22-0250（西町1-2）

【歯科】

診療時間 9時～12時

2日（日）さとう歯科医院

Tel.53-3710（砂川市空知太東1-3）

9日（日）武内歯科医院

Tel.23-3525（大町2-1）

16日（日）伊藤歯科医院

Tel.52-2222（砂川市西1南7）

23日（日）啓南歯科医院

Tel.24-1020（中島町4-1）

30日（日）スマイル歯科

Tel.74-5028（本町2-4）